

きもの 科学部

日本の伝統的な衣装と言われる「きもの」がどのように成り立っているか知っていますか? 「きもの」に表されている色や形はどこからやって来たのでしょうか? どんな技術によって作られているのでしょうか? 「きもの」を構成するさまざまな要素は、実は理科や国語、社会、美術といった皆さんのが学校の各教科で学ぶこと、そして皆さんの日常生活とも密接に結びついています。「きもの科学部」では、それぞれの分野の専門家や職人と一緒に「きもの」を科学的に探求します。



第1回
10月22日(土)
午前10時~12時

色ってなんで見えるの?

講師: 小林淳哉
(函館工業高等専門学校教授・工学博士)



第2回
11月5日(土)
午前10時~12時

職人技ってどんな技?

講師: 蒲池正太
(手描き京友禅職人)



第3回
11月20日(日)
午前10時~12時

着物に描かれているものは? ①

講師: 木島温夫
(滋賀大学名誉教授・農学博士)



第4回
12月4日(日)
午前10時~12時

着物に描かれているものは? ②

講師: 横山恵理
(大阪工業大学准教授・文学博士)



第5回
12月17日(土)
午前10時~12時

デザイナーってなにをつくる人?

講師: 今井淳裕
(株式会社千總製作部・デザイナー)

【各回共通事項】

- 参加費 : 無料 (会場までの交通費は各自ご負担ください)
- 定員 : 20名 (先着順)
- 参加対象 : 京都市立中学校・義務教育学校(後期課程)に通学する1年生(7年生)～3年生(9年生)
- 会場 : 千總本社ビル5階ホール
- 内容 : 専門家や職人からの講義・実演のほか、観察や創作などのワークショップを行います。
- ワークショップファシリテーター :
- 下郡啓夫(函館工業高等専門学校教授・日本STEM教育学会TEAM教育研究会SIG研究代表者)

【補足事項】

- 全5回の連続講座です。(各回の内容は異なりますので、すべての回にご参加いただくことを推奨致します。
ご都合により難しい場合は、各回ごとのお申し込みも可能です。)
- 第2回については、染料を扱うため、汚れてもよい服装でご参加ください。
- 第3回については、身の回りの植物の写真を事前に撮影し、ご持参いただきます。
- 参加される生徒の学校関係者、保護者の方はご見学いただけます。(ご希望の方は info@icac.or.jp へお問合せ下さい。)

【お申し込み】

受付期間 2022年9月1日(木)～9月30日(金) ※定員になり次第、締め切らせていただきます。

申込方法 一般社団法人千總文化研究所 公式ウェブサイト内「研究会・イベント」ページ

又は、右記のQRコードよりお申し込みください。

www.icac.or.jp/event/



【会場】

千總本社ビル 京都市中京区三条通烏丸西入御倉町80

○駐車場・駐輪場はありません。公共交通機関をご利用ください。

【お問い合わせ先】

一般社団法人千總文化研究所(株式会社千總内)

TEL : 075-211-2531 (平日10:00～17:00)

E-MAIL : info@icac.or.jp

【一般社団法人千總文化研究所とは】

京友禅の着物をはじめ、創業以来さまざまな染織品を手がけてきた株式会社千總がもつ美術品や歴史資料、染織技術の調査研究、保存管理を行っています。

「京都」「技術」「美」の3つのテーマを柱とした学際的研究と教育活動を通じて、文化と社会のつながりを浮き彫りにし、新たな文化の創造と継承を目指しています。



○アクセス

地下鉄「烏丸御池」駅から徒歩約3分

阪急「烏丸」駅から徒歩約7分

主催:一般社団法人千總文化研究所 協力:京都市教育委員会

●本プログラムは、文化庁令和4年度「地域活動推進事業及び地域文化倶楽部(仮称)創設支援事業」のもと実施されます。